

株式会社 三陽スプリング製作所

父が始めたバネ製造は、今でもうちの会社の主力製品。その技術を活かし、線材加工やレンタルモップ製造など、事業を拡大してきました。さらに、機械工具なども開発。でも、製造技術だけをアピールして商売するより、新しいモノをどうすれば作ることができるかを考え、当社に期待されオーダーされるお客様のニーズに応え続けてきたんです。

僕自身は、正直、モノづくりが苦手。中学時代の技術の成績は「1」でしたから(笑)。ただ、要所で必要な人と出会い、助けられてきたんですわ。若い人も入社して育ってくれました。今、製造現場は30代の工場長と千一七の2人が責任をもって仕事を進めてくれるので安心ですわ。外国人研修生も受け入れてます。

僕のポリシーは、人との出会いが財産。出会いを大切に、お人好しと言われるぐらい、人に尽くした商売をしていきたいですわ。

代表取締役社長
大原 泰秀さん



バネの製造から始め
線材加工、モップ製造へ
事業拡大

おんがの箱の中は
塗って思ひますわ

バネの製造から始め
線材加工、モップ製造へ
事業拡大



女性の力に
助けられてます

このベンダーと
いう機械、なんと手作り!

レンタル用のモップを
作っているのは全国に
2社しかありません

人材活用術
の
が
が
が



おもちゃ、日用品、機械部品など 幅広い製品、機械で使われる

機械バネの総合メーカーとして、1948年に創業。同社が製造するスプリングは、バランスを取りながら1本足の杖でジャンプする「バランスホッピング」をはじめ、リクライニングクッション、背中たたき、洗濯パサミなど、おもちゃから生活用品、機械部品まで様々なところで使用されている。バネは線状の金属を曲げて加工するが、その技術を応用し、金属素材の線を様々な形に曲げて加工する線材加工も行っている。

金属を曲げるには、同社はベンダーと呼ばれる機械で加工を行うので、女性パートでも自在に、どんな形にも曲げることが可能。お客様の要望を聞き、製品を作るうちに3000種以上の製造プログラムを開発。あらゆるニーズに即時に応えられる。

線材加工技術を活かし、モップの製造・販売を新たに展開。軽量化の流れで、取引先からプラスチック製のモップ製造を依頼され、工業デザイナーとタッグを組み、スタイリッシュなモップを開発。日に100個を生産した。

新たな展開として、外国人に日本の技術やサービス、ものづくりのスキルを学んでもらい、国に戻って起業するための支援を行う。大原社長は、もともと海外志向が強く、現在の事業でベトナムや韓国とのつながりもできたことで、本業とは違うけれど挑戦しようと決意。社長のチャレンジに注目したい。

株式会社三陽スプリング製作所

http://www.sanyou-sp.com/
〒544-0013 大阪市生野区巽中1-24-27
TEL 06-6757-7531 FAX 06-6757-7532

事業内容/バネ(スプリング)、の製造・販売、線材の曲げ加工、打抜き加工、モップの製造・販売、清掃用品の製造・販売

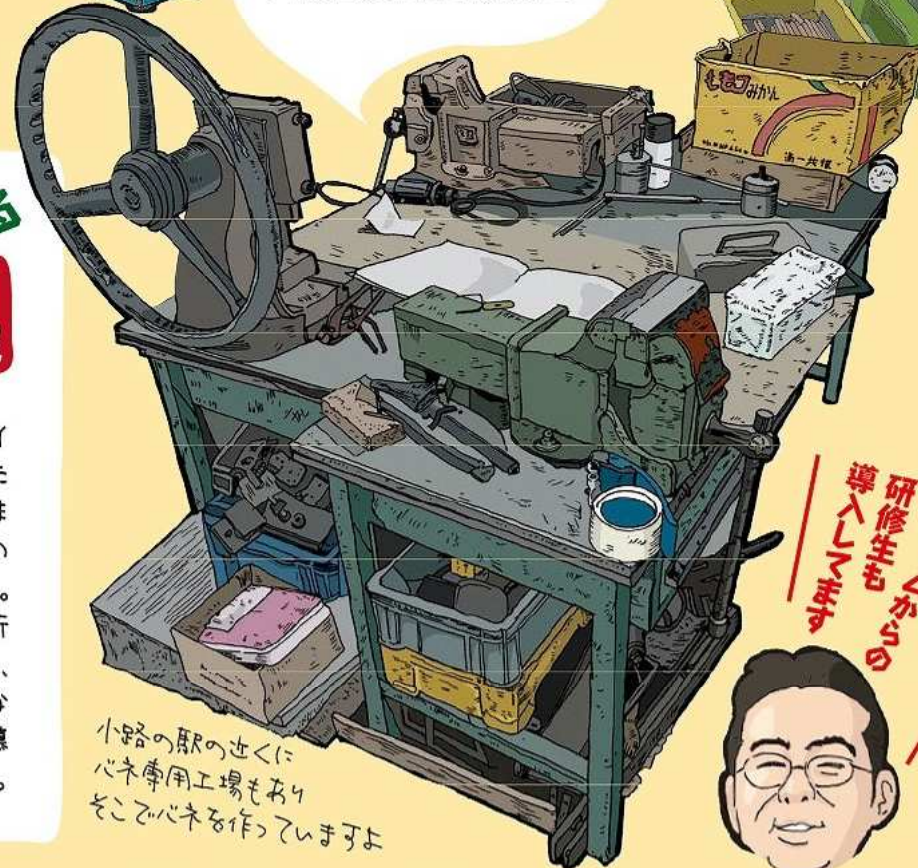


技術を学びに
きました

ベトナム人の
バオさんは25歳、
ほかに海外からの
研修生1名も在籍

新しい機械は
色もポップで
カッコいい

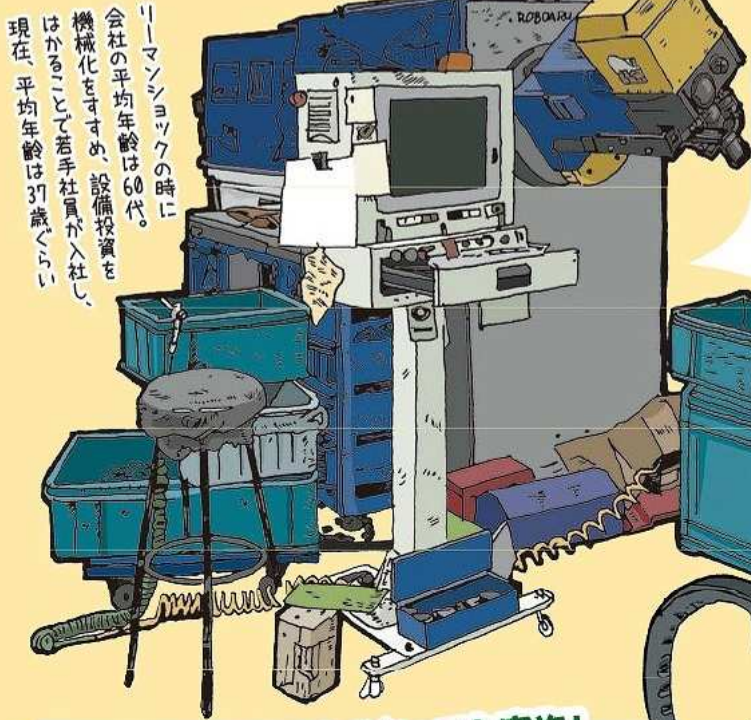
1階は線材加工、
2階はモップ、
3階は倉庫と仮眠室



ベトナム人は
研修生も
導入して
ます



小路の駅の近くに
バネ専用工場もあり
そこでバネを作っていますよ



リーマンショックの時に
会社の平均年齢は60代。
機械化をすすめて、設備投資を
はかることで若手社員が入社し、
現在、平均年齢は37歳へ下がりました

従業員も協力工場のスタッフも家族!
自分よりも相手を大切に
大原社長の人格が
品質向上につながる **我が社の自慢**

大原さんは、常に自分よりも相手を大切に考えるタイプ。ベトナムへの出張にベトナム人スタッフを同行した時のこと。当初はバックパッカーが泊まる激安宿に泊まる予定だったが、スタッフの彼女が会いにくるので、1泊4万円の5ツ星ホテルに彼だけ宿泊させたそう。また、日本語を習っている現地工場スタッフが日本に行きたがっているのを聞き、自費で日本まで連れていき、宿泊費をカットするため自宅に泊めてあげたそう。そんな大原さんだからこそ、協力工場の現地スタッフも彼を慕い信頼し、結果、質の高い製品作りへとつながっている。